

社協だより

たるい

平成21年12月1日

編集発行
垂井町福祉会館内
垂井町社会福祉協議会
TEL 23-3335
FAX 22-2714



福祉講座
炊き出しを
体験しよう！
大勢の方が参加
されました。



おもな内容

- 各地区ささえあい連絡会活動
 - 中学生のワークキャンプ
 - ひとり暮らし高齢者のつどい
 - 手話教室・サマー福祉学習
ふれあい垂井ピア
 - 福祉講座
 - 平成21年度 社協会費
ご協力ありがとうございました
 - 赤い羽根共同募金
あたたかい善意の寄付
ありがとうございました
- デイセンターあゆみの家
共同募金配分事業
- 心配ごと相談

2009.12

第71号

住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり

ささえあい連絡会

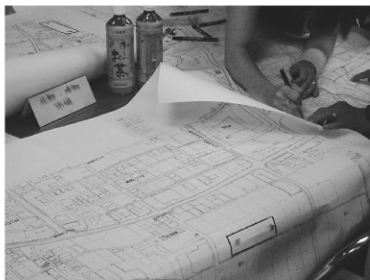
垂井町内においても、少子高齢化・核家族化にともなう、ひとり暮らし世帯や高齢者世帯の増加、孤独死、不審者による事件等、様々な課題が生じています。

このように次から次へと浮上する地域の課題を解決し、住み慣れた地域でみんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、地域のみならず支え合っていくことが大切といえます。

そこで、昨年12月に町内各小学校区ごとに「ささえあい連絡会」が設立され、このような課題に取り組むべく活動を開始しました。

ささえあい連絡会は、自治会長、民生委員児童委員、福祉推進員等の地域で活動している様々な人や団体の相互の連携を密にし、ともに地域の課題を解決していくこととするもので、地域福祉推進の母体となっていくことが期待される組織です。

町内全地区にこのような組織が設立され、始動したことは、県下において先駆けともいえることであり、各地からその活動が注目されています。



各地区ささえあい連絡会 今年度の取り組み

岩手地区ささえあい連絡会をかわきりに6月から7月にかけて各地区ささえあい連絡会の平成21年度総会が開催され、昨年度の事業報告・決算、今年度の事業計画案・予算案の協議が行われ採決がされました。

総会の後、第2部として各地区ささえあい連絡会ごとの方針に従い、研修会や要支援者マップの作成・更新作業が行われました。

また県広域防災センター見学研修会、自主防災組織との共催による防災・要支援者マップ作成の研修会、見守り活動のための準備活動、より充実した要支援者マップ作成に向けての取り組みなど各地区ささえあい連絡会独自の活動も展開されはじめました。

東地区ささえあい連絡会

総会（7月17日）
東公民館にて



人と防災未来センター語り部
谷川三郎氏 講演会
（7月17日）
東公民館にて

垂井地区ささえあい連絡会

総会（7月26日）
垂井町中央公民館にて



人と防災未来センター語り部
谷川三郎氏 講演会
（7月26日）
垂井町中央公民館にて

栗原地区
ささえあい連絡会



総会 (6月23日)
合原公民館にて



防災士 西田重成氏
講演会 (6月23日)

合原公民館にて

表佐地区
ささえあい連絡会



総会 (7月1日)
表佐公民館にて



小嶋基次氏
講演会 (7月1日)
表佐公民館にて

宮代地区
ささえあい連絡会



総会 (6月27日)
宮代公民館にて



要支援者マップ作成
研修会 (6月27日)
宮代公民館にて

岩手地区ささえあい連絡会

総会 (6月4日)
岩手公民館にて



要支援者マップ作成
研修会 (6月4日)
岩手公民館にて

府中地区ささえあい連絡会

総会 (6月20日)
府中公民館にて



要支援者マップ
作成・更新 (6月20日)
府中公民館にて



垂井地区ささえあい連絡会
県広域防災センター見学会
(8月21日、8月28日)

地域でのささえあいは平常時はもちろんのこと、災害時など緊急時にも必要となります。

平常時においては支え合ふことの大切さをなかなか理解しにくいかもしれません。

地震等の災害時を想定すると身近に感じられるのではないのでしょうか？

そうした観点からいくつかのささえあい連絡会では、災害時のささえあいをテーマに講演会や研修会を開催し、活動の推進を図られています。

わたしの福祉体験 ふれあつて学んだ 笑顔とやさしさと思いやり

中学生がワークキャンプに参加

夏休みを利用して不破中学生徒さんはいぶき苑で、北中学生徒さんはあゆみの家で、ワークキャンプを実施しました。利用者とのふれあいの中から学んだ体験をご紹介します。

いぶき苑

ワークキャンプについて

不破中学校 二年 千神穂乃香
8月5日〜6日の2日間、ワークキャンプがいぶき苑でありました。

私は、友達と決めて参加しました。この前の職場体験でお仕事させてもらったので、コミュニケーションはとれていたのですがスムーズにできませんでした。

1日目の仕事は、ゴミ箱づくり、のれんづくり、わたがしづくりでした。

一番むずかしかったのがのれんづくりで、入苑者の方が見やすいように書いたり、わたがしを使って氷の部分にしたりすることです。でも、アイディアを出してできたのでよかったです。

お店では、わたがしを担当しました。初めてだったので、うまくできなくて残念でした。

2日目の車いすに乗る体験で

は、色々な種類があることを知りました。

実際に、車いすに乗ると想像してなかったのが恐かったです。

また、介助する側で車いすを押すのもすごく大変でした。

それをもっとやってほしい人はすごいと思いました。

その後には、ゼリーの試食では食事ができない人達はとろみをつけたいとむせてしまうのでつけるというのを知りました。実際に、試食してみるとイメージと一緒に、正直に言うとはびっくりしました。

その後のふれあいの時は、たくさんの方とお話できてよかったです。

職場体験の時のふれあいのときに、お話しした人がおぼえてくれたのでうれしかったです。

食事運びの時は、ほとんどの方の名前が分かったのでよかったです。

このワークキャンプに参加して、いい体験ができて良かったです。将来、この仕事につけるようになるばりりたいです。

ワークキャンプに参加して...

不破中学校 二年 山田 真莉

私がワークキャンプに参加して思ったことは、お年寄りの方々はみんな元気で、いろいろな話をしてくださる方が多いのでとても楽しいと思いました。

できるだけ、たくさん話ができると自分なりに工夫してみるとお年寄りの方は、進んで話をして下さいました。

昼食は、食事の介助を行いました。私は職場体験の時も介助したので、その時の経験を生かして頑張りました。入苑者の方の昼食を配るとある方は、「ありがとね。」

と言ってくれ、とてもうれしく思いました。だから、もっと喜んでくれると良いと思ったので、自分が手伝えるようなことは進んで行動しました。

夜の盆踊り大会では、初めてわたがしを作りました。なれない作業で難しかったけど、コツをつかめばキレイにできるんだと知りました。

車いすを体験した時、自分がいつも見ている目線と、車いすに乗っている時の目線がすごく違うし、思ったよりも速さがあって驚きでした。お年寄りの方々はみんなこんな感じにいるのかと改めて分かった気がしました。

入苑者の方の中には、九十歳以上の方も多くみえ、とても元気に過ごしている方が多かったことで、驚きました。その元気はどこからくるのだろうと不思議です。人生の大先輩がたくさんいて、

話を聞いてみるととても参考になることばかりで、アドバイスをや、はげましてくれることがあって、すごくうれしかったです。

介護の仕事は大変だけど、さまざまな人といろいろな話したりしている、やっぱりとても楽しいと気づきました。始めからできないと決めつけてやらないのはなく、何ごとも頑張つてやってみる事が大切なんだと学びました。自分が今できることを精一杯頑張ること、できるように頑張った時の達成感があるのだと思いました。

あるおばあちゃんに、「将来は、ここで働けるといいね。」と言われ、私は、将来もこういった施設で働けたらいいと思えました。約束が果たせるようにこれから頑張りたいです。

ワークキャンプに参加して

不破中学校 三年 佐々木晴香

私は実を言うと、お年寄りが苦手でした。なぜなら、お年寄りは大先輩なので言葉づかいにかなり気を付けなくてはいけないからです。それに、私は敬語が苦手です。だから、一日目の夕飯の時、何をしたいか分からないから、ただ立って見ているだけになつてしまいました。でも、私の友達は、ペーパーのお年寄りや会話などをしてふれあっていました。しかも、心の中を思い、私はいったい何をしたいのか、ここへ来ているのだろうとシヨックでした。だから、誰にも言っていないけれど、本当は明

日の昼も食事の介護がまわっているのかと思うと、実は嫌で嫌でしかたありませんでした。でも、次の日の昼は昨日のようにならないようにしようと思ひ、まず食事のお盆くばりから積極的にいひまわりました。敬語は苦手だけど、いか八か喋つてしまえー!!と思ひ笑顔で、「カレーお好きですか。」と聞いてみました。すると、「好き」と言つて笑顔でかえして下さいました。そこから、苦手という感情を忘れて、「今日のお昼は、カレーなんですよ。」とか、「お茶のおかわりいりませんか。」など、たくさんお話することが出来ました。そして、昨日は片づけさえも出来なかつた私が積極的にお年寄りの横へ行き、「お下げてよろしいですか。」や、まだお茶が残つていたら、「まだ飲みますか。」などと声をかけ5・6人のお年寄りのお盆を片づけることが出来ました。なんだか、すごく気持ちよかつたです。こんなんだつたら、昨日も積極的にやれば良かったなあ...と少し後悔しています。出来れば、あと一週間泊まりたかつたです。

それから、盆おどり大会では、ジュース・お茶の屋台が担当でした。私はお店屋さんゴッコが好きで小さい時もよく友達とやっていました。だから屋台の店員をやると聞いた時、とてもワクワクしました。そして、のれんを作り、やつとワクワクしていた屋台が始まりました。お客さんは焼きそばやおかしつかみばかりに集まり、なかなかジュースの所へ来てくれませんでしたが、働きたいにお客さんが来ないなんて嫌だ!!と思

い、大きな声で「ジュースイかがで
すかー」と叫びました。すると、
お客さんが何人か来てくれました。
た。やっぱり大きい声で宣伝する
とお客さんは来てくれるものなん
だと思ひ、苑の中を一周回りな
がら、宣伝しました。すると、一
周して見かけた人達が次々と
お店に来てくれました。どんど
ん売れていき、あとお茶だけにな
った時は、かなり嬉しかったです。
でも、やっぱり私は、完売しなく
てはやりきった事にならないと思
い、さらに声を出しました。そし
てなんとか、お客さんが来てくれ
て、すべて完売させる事が出来ま
した。やりきった感じがすごくあり、
楽しかったです。

他にも心に残っている事があ
ります。それは車イスの実技です。
私はこの三年で足を骨折、捻挫、
脱臼をし、松葉杖生活を三度も
経験しています。そして、病院で
は車イスを利用していました。だ
から、大体の操作の仕方は分かっ
ていました。でも、私がついてい
たのは、普通の一般的な車イスで、
いぶき苑はたくさんの車イスがあ
りました。今まで見た事の無いよ
うな車イスが何種類もあり、と
ても興味深かったです。そして実
技では、乗る方と、押す方のどち
らも体験しました。乗る方では、
スロープなどの坂を下る時が、す
ごく怖かったです。例えるなら、
絶叫マシンのジェットコースター
のようでした。体がふわつとし
たような感覚になり、いつきに急
降下。すごく怖かったです。そん
な絶叫マシンをお年寄りには毎
日体験しているのかと思うと、尊
敬します。もし私が誰かの車イス

を押すようになった時には、なる
べくゆつくりと下るようにしてい
たいです。そしてやっぱり思う事は、
車イスは楽だなあと思いました。
毎日のはさすがに嫌になるかもし
れないので、2日だけ車イス生
活をしたいです!!

最後に...ある意味心に残っ
たのは、ゼリーを飲んだ事です。
そして、その中でもお茶は強烈で
した。例えるなら、中華飯のどろ
りとした片栗粉を水でといたよ
うな感じでした。私は中華のやつは
好きですけど、お茶となるとすこ
かったです。多分、一生忘れませ
ん。いい体験になりました。

一泊二日、いろいろとありがと
うございました。良い体験が出
来て嬉しかったです。高校でも、
いぶき苑のボランティアに参加し
たいと思います。



ワークキャンプをおえて

不破中学校 三年 長谷川 里奈

私は介護のボランティアに参加
するのは初めてで、友達にさそ

われて参加することになりました。
初めは正直、めんどくさいなあ、つ
て思っていました。

1日目の昼、その日にある祭
りのかんぱんづくりをしました。
デザインを自分で考えてつく
らなきゃいけないので、自分にそ
んなのつくれるかな、って不安でし
た。でも、参加していた子達が「も
つこうした方がいいと思うよ!!」
などと、アドバイスしてくれた
おかげで、最後まで自分なりに
上手につくれたのでよかったです。
仲間って大切だな、と改めて実
感しました。

夕方には、おばあちゃんの食
事の介護をするようになりました。
初めは何をしゃべっていいのかす
ごく迷いました。でも、おばあち
やんから優しく声をかけてくれ
たおかげで、何を話せばいいの
か分かってきて楽しく話しをする
ことができました。

私の家は、おじいちゃんや、お
ばあちゃんと一緒に暮らしてい
ません。なので、食事の介護や話
をするなど、貴重な体験ができて、
とてもよかったです。私が接した
おばあちゃんは、すごく優しくて
かわいいおばあちゃんでした。1
日でも長く、楽しく生きてほし
い、って思いました。

夜、祭りで私達はジュースイの缶
についている水をふきとってわた
すという役目でした。初めは、参
加している私以外の子がすごく
積極的すぎて、私は見ていただ
けしかからず、私はいっぱい人が来
て私を手伝うことになりました。
私がタオルをちゃんとふいてわた
した時、小さい子や、大人の人が

「ありがとう」といつてくれる人が
たくさんいました。聞くたびに、ま
すこうれしい気持ちになりました。
なので私も親切にされた時
はちゃんと感謝することを忘れ
ないようにしたいと思います。

私はワークキャンプに参加し
たことで、いろんな人とふれあ
うことができてもよかったですと思
います。参加する前はめんどくさ
いなあ、とか思っていたのに、終わ
つてからはまたこういうボランテ
ィアがあった時は、また参加した
いなって思えるようになりました。
でも、今度は友達にさそわれて
参加するんじゃないかと、自分から
友達をさそって、私みたいに初め
はめんどくさいなあ、って思ってい
る子も、おわつた時にはまた参加
したい!!って思ってくれる人がふ
えるといいな、って思います。

最後学んだ事

不破中学校 三年 早野 莉央

私は2日間いぶきえんのワー
クキャンプに参加しました。始め
に、屋台のれん作りをしました。
みんな協力して、

「ここはこうした方がいいんじや
ないかな。」

などと意見を出し合い、工夫し
て楽しくできました。お昼はどう
いうふうにして介護されているの
かを見ていました。私は、一昨年
も来ているので色々教えて下さ
ってお世話になつたおばあちゃん
の所へ社会福祉協議会の方と一
緒に見に行きました。ですが、ど
こを見ても見つからなかったの

きつとお部屋かなと思つて見に行
つても、ベットのふとんが整理され
て、ネームプレートを見ても違
う方の名前が書いてありました。「い
ないね。」と話をしていたら、社会
福祉協議会の方が聞いてくれま
した。そしたら、そのおばあちゃん
は一ヶ月前程に亡くなったそう
です。

一昨年はあんなに元気にしゃ
べつてくれたのに、急に亡くなつた
と聞いてとてもショックでした。去
年でも会いに行けばよかつたと
後悔が残りました。あつちの世界
でも元気にやつて下さる事を願
います。その後は昼食を食べて、の
れん作りの続きをやつて、介護し
ている方のお手伝いをさせてもら
いました。一昨年経験したけど
人が代わつたので緊張してしま
したが、一緒に介護している方がつ
いてくれて助けて下さつたので助
かりました。一昨年は初めてでい
つばいっばいで周りが見えなかつ
たので、今回は意識して見てみた
ら、みなさんすごい元気で明るく
接していました。私についてくれ
た方も笑顔で色々話して下さい
ました。やっぱり笑顔を見るだけ
で安心できるので、笑顔は大切
だなと思いました。それから、
少し意識して笑顔であいさつし
たりしてみました。するとほとん
どの方が笑顔で返してくれました。
今回は笑顔でいることの大切さ
が分かりました。

ワークキャンプは大切なこと
を毎回教えてくれます。この三
年間一つずつ大切にすることが
学べました。これからの日常で学
んだことをしっかりと活かしてい
きたいです。

あゆみの家

ふれあいをとめて

北中学校 一年 小林 諒

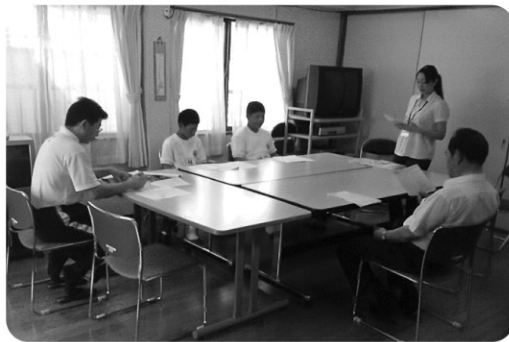
あゆみの家のワークキャンプに参加を決めた時から、わくわくするような楽しみな気持ちと、緊張と不安が混ざり合った気持ちでいっぱいでした。

そして、できるだけたくさんの人と話ができるようになりたいと、自分なりの目標をもって参加をしました。けれど、いざ体験してみると、ドキドキしてしまつて、なかなか声が出せませんでした。話しかけられてもうまく答えることができず、少し落ち込んでしまいました。しかし利用者の方も、スタッフの方達もすごい笑顔で、楽しそうにされているのを見て、ぼくも普段通りに話したり、笑つたりできるようになってきました。

ぼくは、さぼてんグループと一緒に活動をしました。五十本のひもを数える作業は、とても時間がかつて大変でした。だけど、それぞれ自分のペースがあつて、楽しそうに作業されていたので感心しました。

「障がいがある」ということは、少し不自由なこともあるように思います。でも、そのことに負けず、一人一人が良いところや素晴らしいところをたくさんもつていらつしやることに気付きました。だから、いじめたり、差別をしたりすることは絶対にいけないと思いま

した。そして、障がいのある人達が困らない社会を作っていくには、いろいろなことを知らないといけないと思ひました。ワークキャンプの中で教えて頂いたように、「他人事ではなく、私たち皆で考えていかななくてはいけないテーマ」ということを、いつも心のなかに置いておきたいと思ひました。ワークキャンプが終わつても、夜のまつりに参加したくなり、一緒に活動する中で過ごした時間は本当に忘れられません。



ワークキャンプで学んだこと

北中学校 一年 中村 大志

八月八日にあゆみの家にワークキャンプに参加しました。あゆみの家に通っている方と自然に接することができるだろうか、そのような不安が頭をよぎりまし

た。そしてあゆみの家に着きました。小林諒さんと一緒に開会式に参加し、気をつけることや激励の言葉を聞きました。

その中で特に大事だと思つたことの二つ目が利用者の方の名前は〇〇さんと呼ぶということです。利用者の方は十八才以上の方だからということです。二つ目はていねいな言葉かけをするということです。

ぼくがセンターで出会つたAさんは知的障がいがありました。そのAさんは箱に釘を入れて二十本ずつに仕分けする作業をしていらつしやいました。

しかしその作業を一回やるのに三十分かかりました。その姿を見て、御自身ができることを精一杯やつていらつしやるのだと思ひ、ぼくはそのとき感動しました。また、まわりの人たちが「Aさん！Aさん！がんばれ！」と励まされているのを見て、あゆみの家ではみんな助け合つて生きていらつしやるのだと思ひました。

このワークキャンプで学んだことは、みんなが他の人のことを考えて行動しているということです。そしてあゆみの家にいるみなさんはぼくたちと何ら変わりはないということです。

この体験を通して障がいという言葉は考えず、一人の人間として接して、どんな人にも進んで助けることができるようになりたいと思ひました。そして今、この作文で宣言したことをがんばつてみたいと思ひます。

ひとり暮らし

高齢者のつどい

お元気でしたか？ お久しぶりです。

11月19日垂井町生きがいセンターにおいて、ひとり暮らし高齢者のつどいが開催されました。

今回は、琴洋会と尺八壹心会の皆さんによる心和む邦楽演奏、宮代・願林寺住職の川瀬滋様による笑いながらも深く考えさせられる講話を楽しんでいただきました。

この日は、ボランティアグループ「つばき会」のみなさんにもご協力いただき、参加者の方々に喜んでいただけました。



～サマー福祉学習に参加～

点字を体験しました

夏休みを利用して町内の小中学生を対象にサマー福祉学習を開催しました。

今年は、ボランティアグループ「虹の会」にご協力いただき、点字を学習しました。

五十音から順番に練習をし、午後には短い文章を打てるまでになりました。学習の成果として、しおりを作りました。

また、視覚障がい者の塚原隆子様と盲導犬のヴェネツィアに来ていただき、参加者の打った点字を読んでいただいたりして交流をしました。



第27回 手話教室

楽しく学べました

今年の手話教室は、8月8日から10月17日までの土曜日に全10回のコースで開催しました。

受講生の方は、毎回熱心に参加されました。

開催には、町聴覚障害者協会、手話サークル泉の会のみなさんのご協力を得ました。

教室では、手話を学ぶだけでなく、聴覚障がいの方との交流もあり、和やかな教室になりました。



ふれあい垂井ピア2009に参加



けやきの家の手作りの販売コーナー



輪投げコーナー



舞台上はフラダンスで参加しました



ボランティアさんにご協力いただきました

- つばき会
- 日赤奉仕団
- 手話サークル泉の会
- うさぎの会
- 虹の会

東地区生きがいサロンの会
ひよこママの会



アルファ米の試食も行いました

福祉講座

平常時のみならず災害時を含めたボランティアの意義、活動等についての知識を深めてもらうため、5回の福祉講座を開催。

災害時のボランティア活動の知識を深めよう

第1回

「迫り来る巨大地震～
その時どうなる…?どうする…?」

講師 防災士 西田 重成氏

日常生活の中で、一人一人が防災に対する意識を持つことが大切であり、普段から近隣の人との交流を深めておく必要があると、話されました。



第2回

「災害時の応急処置」

講師 不破消防組合

AEDを含む応急処置の実習をおこないました。



第3回

「炊き出しを体験しよう!」

赤十字奉仕団の皆さんの協力を得て、ハイゼックス(災害救援用非常袋)を使用して、炊き出しを行いました。



普段のボランティア活動に役立てよう

第4回

ボランティアに役立つレクリエーション①



第5回

ボランティアに役立つレクリエーション②

講師

岐阜県レクリエーション協会
浅野 綾子氏

ボランティア活動をする時に自分が使えるレクリエーションを幅広く教えていただきました。



どの講座も、たくさんの方に参加していただきました。

平成21年度社会福祉協議会の会費にご協力ありがとうございました。

会費募集には、皆様からのご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。また、会費納入には、自治会長様には格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

会費は、福祉のまちづくり活動事業等の貴重な財源として使わせていただきます。

今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、平成21年度会費のつかいみちにつきましては、平成22年3月1日発行予定の社協だよりでお知らせいたします。

会費総額	5,107,800円
一般会費	3,640,800円
特別会費	42,000円
施設会費	80,000円
賛助会費	1,345,000円

賛助会費のご協力をいただいた法人・団体をご紹介します。ご協力ありがとうございます。

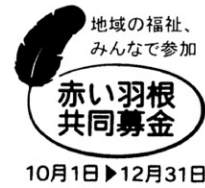
平成21年度賛助会員(順不同・敬称略)

(有)みどりや	平成興産株式会社	(有)伊藤鉄工所	株式会社 東海興産
(有)エガミオート	(株)三谷建設	小野工業所(株)	ナニワ企業株式会社
クゼ工務店(株)	やまざきキッズクリニック	(株)サンホーム	日本板硝子株式会社
コーケン産業(株)	(株)ユニチカゴルフ垂井	垂井燃料(株)	ひばり薬局
(有)栄クリーニング店	和田内科胃腸科	うえだ歯科医院	(資)三扇製作所
有限会社太陽金属工業所	(有)上田商事	(株)桐山工務店	特定・特別医療法人
田中飼料(株)中部工場	(株)エイワ	高和工業株式会社	博愛会
松岡鉄筋工業(有)	シャディギフト館エムアート	(株)サンレール	株式会社 ユニチカ環境技術
大垣信用金庫 垂井支店	株式会社 カサイ	日豊化成(株)	センター 岐阜営業所
岐菱商事(株)	株式会社 カジケイ鉄工	(株)松井組	石川設電株式会社
(有)清水土木	河合製瓦(有)	ワコー樹脂(株)	岐阜県西部電気工事業
(株)十六銀行 垂井支店	カワウチM.R.(株)	あいほら医院	協同組合
垂井西濃集配(株)	(株)工和製作所	協和工業(株)	ユニチカ垂井エスタブ
ナブテスコ(株) 岐阜工場	(株)酒井工務店	古山家具(株)	リユーザービス(株)
(株)中山サンコー	株式会社 新晃	鹿野管工(株)	(有)太田商店
西美濃農業協同組合	新興鋳物(株)	(有)松井商店	(有)恒栄電気
垂井支店	(株)ハシモト電気	(株)松栄工務店	株式会社 服部精工
(株)マノ 岐阜工場	(株)平塚建設工業	有限会社 八百清商店	イワタニ東海(株)
(有)小野産業	平野化工(株)	クラプラスチックス株式会社	株式会社 樋谷 栗原工場
いすゞ自動車東海(株)	藤井建設(株)	伊吹工場	(株)伊吹興産
(有)桐建	(有)宮川鉄工所	(株)杉山製作所	(有)小野モータース
(有)サニーワーク	三星磁業(株)	古井医院	(株)郷鉄工所
セイワ化成(株)	(株)岩田組	日本プライメタル株式会社	安田歯科医院
高木建設(株)	垂井町民生委員児童	大垣共立銀行 垂井支店	(有)八百清燃料店
東海労働金庫 垂井支店	委員協議会	(株)大脇組	(有)西尾キャリア
(有)ニュー不破モータース	(株)ヤナギ園芸	有限会社 現金屋燃料店	(有)吉田工業所
不破医院	有限会社 慈鶏園	スギケー精工(株)	オムニテクス(株)
安田金属工業(株)	(有)山元産業	ダイゼン工業(株)	スイトタクシー(株)
ユニチカ(株) 垂井事業所	吉田木材株式会社	ダスキンショクレン	岐阜近鉄タクシー(株)
株式会社 朱竹	(株)室建工	株式会社 メカニック	(有)児玉工業所
医療法人清澄会	(株)イシキ	株式会社 マルセパン	中山産業(株)
不破ノ関病院	(株)新和建设	大橋新聞舗	(有)高木工務店
はくあい内科クリニック	ヤマキ瓦産業(株)	三甲(株)	(株)フードセンター富田屋
不破ロータリークラブ	レストランひらつか	(株)サンワーク	(資)垂井日之出印刷所
(有)小川新聞店	(有)ヨシダカーテン	(株)ソーワ	
(株)近藤板金店	東建設(株)	(有)多和田鉄工建築	

地域の福祉 みんなで参加

10月1日から12月31日まで「地域の福祉みんなで参加」をスローガンに、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が行われています。

10月1日には垂井駅他4カ所で街頭募金をおこないました。また、垂井ピアの会場でもご協力をお願いしました。



みなさまからのあたたかい募金は、岐阜県共同募金会を通じて、社会福祉施設、社会福祉団体、住民参加福祉サービス団体、地域福祉活動等に使われます。

心配ごと相談

一人で悩まず気軽にご相談ください。

場所…垂井町福祉会館2階相談室
時間…午後1時から午後4時まで

	12月	1月	2月	3月
第1水曜日	2日	6日	3日	3日
第2水曜日	9日	13日	10日	10日
第3水曜日	16日	20日	17日	17日
第4木曜日 (法律相談予約必要)	24日	28日	25日	25日
第4土曜日 (結婚相談)	26日	23日	27日	27日

あたたかい善意のご寄附 ありがとうございます

- (株)立岩様 …………… 878,712円
- クラレプラスチック(株)伊吹工場様 … 50,000円
- 不破郡労働者福祉協議会様 …………… 25,338円
- 不破中学校東地区ボランティア様 …… 4,319円
- 匿名 …………… 100,000円
- 元県老連理事様 …………… 20,000円
- 匿名 …………… 10,000円
- 岐阜県理容生活衛生同業組合不破支部様
…………… タオル1箱
- 匿名 …………… 米30kg

編集後記

今年ももう12月です。日に日に寒くなってきました。

不破郡では、特に新型インフルエンザが流行し、町内の小・中学校の学級閉鎖が後を絶ちません。「新型インフルエンザにかからない、うつさない」ために、手洗い・うがい・マスクの着用を心がけましょう。

元気で初詣に出かけられますよう、お体に気をつけてお過ごし下さい。

「デイセンター あゆみの家」に非常用発電機を整備 ＝共同募金会配分事業＝

知的障害者通所施設「デイセンターあゆみの家」を、地震等の災害時に知的障害者のための避難場所として使用できるようにするため、共同募金会へ配分をお願いしてきたところ、平成20年度事業として、配分決定を受け、平成20年9月より工事開始し、12月に完成しました。

これにより、地震等の災害時に停電になっても、必要最小限の電気を使用し、水の確保や、食糧の保管が可能となり、知的障がいのある方やご家族に、施設を緊急避難場所として利用していただけるようになりました。

